

=====
アレルギー支援ネットワーク 通信 (仮称)
=====

NO. 5 2007.5.1

-
このメールマガジンは、アレルギー支援ネットワーク会員のみなさまへお送りして
います。

-
ゴールデンウィークがやってきました！！皆さんは、何をして過ごしますか？
たくさん遊んで、たくさん楽しんで、たっぷり休養をとりたいですね。くれぐれも
事故のないようお気をつけください。

では、アレルギー支援ネットワーク通信 5 号をお届けします。

★---☆ も く じ ☆-----★

1. テーマ「アレルゲン表示」
2. アレルギー支援ネットワーク理事の声
-その5- 橋本理事から みなさまへ
3. 会員からみなさまへ
4. 賛助会員からのメッセージ -株式会社ルバンシュー-
5. 事務局の窓辺から -伊藤-
6. ホームページからのお知らせ
三重中部地震 各地からの報告
7. ニュース・エトセトラ
1) 防災救済ネットワーク
8. クリキ家づくり悪戦苦闘記 2
9. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します
10. メールマガジン無料会員募集します

☆-----★
※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

◆-----◇

☆ 1. テーマ「アレルゲン表示」 ★

◆-----
来春の「アレルゲン表示見直し」に向けて「アレルゲン表示」で困ったこと、失
敗談をお話ししませんか！？と前号で呼びかけました。この号では、みなさんから

お寄せいただいたものを紹介します。

その1 非常食用チョコレート（年齢：5歳1ヶ月頃 性別：男）

乳の表示がなかったので、非常用に備蓄できるかどうかを子供に試しに食べさせたところ、アレルギー症状がでたので薬を飲ませた。メーカーに問合せをし、残りのチョコレートで調べた結果、乳を使った（コンタミ）製造ラインでミルクチョコレート等を製造した後、洗浄せずに原材料に乳の入っていないチョコレートを製造したとのことで、乳が混入したとみられる。製造ラインの洗浄は難しいということなので乳表示をするようにしてもらった。（アンケート回答より抜粋）

その2 米粉のパン（年齢：1歳頃 性別：男）

原材料を確認した上で、自宅で米粉のパンを作り子供に食べさせたところ、アレルギー症状がでた。改めて確認したところ米粉に小麦グルテンが使用されていた。（アンケート回答より抜粋）

その3 植物蛋白

自然食品の宅配で試しに購入。植物蛋白と表示してあったので、大豆蛋白と思い子どもに与えたら、呼吸困難になった。多分、小麦グルテンだったと思う。（アレルギーの会の方からの投稿）

その4 揚げ油

ファミリーレストランでフライドポテトを頼んだ。卵を使っているものを揚げた油でポテトを揚げたらしく、食べたら顔がはれた。（アレルギーの会の方からの投稿）

◆ ----- ◇
☆2. アレルギー支援ネットワーク理事の声

ーその5ー 橋本理事から みなさまへ★

◆ ----- ◇

アレルギー支援ネットワーク理事の橋本です。

私は、長年病院の栄養士として、食物アレルギーに関わることで、色々な事が見えてまいりました。

食事・環境・生活習慣などを、分析してみると、食物アレルギーは、食性と食生活のズレがもたらす病気ではないか？と思うようになりました。毎日の食事は、イノチを育む大切なものです。

日本の緯度にあった食べ物はなにか？食べ物は、その国の文化的財産です。気候や風土（土壌）に育てられた動植物、微生物が、密接に関係していると考えています。

現代の食生活は、便利と引き換えに、多くのものを失ったように見えます。自分の身体の特徴を知り、自分に合った食事や価値観をもって生活することをお勧めします。

食材を自分で作ることが、一番安心で安全な食べ物ではないのか？

（日本人の胃袋は、日本人の手によって）

現在、内閣府 NPO、神奈川県 NPO 団体に所属し、「食育と食物アレルギーの予防」を展開しています。

地産地消、フードマイレージを実証するために、昨年よりアグリカルチャー（農業学校）を、神奈川県秦野市で展開中です。市民農園ではなく、農地を借り受け、農産物を、農家と協同で、生産し販売するシステムです。この方法は、NPO 団体の会長の小川さんが、考えた方法で、高齢になった生産者を支援することも含まれています。（小川さんは神奈川の日本技術士会の会長も務めており、環境にも精通された方です。）

戸惑いながらも一步一步、神奈川県全土に、そして神奈川から全国に発信できるようにという夢を見ながら協力の輪を広げて活きたいと思っております。

連絡先：かながわのあすを築く生活運動協議会

◆-----◇
☆3. 会員からみなさまへ ★

◆-----◇

わたしは浜松市で和菓子屋の五代目をしております。

アレルギーに関心を持ち、前回アレルギー大学に参加させていただきました。関心を持ったきっかけは、友人との会話の中で、幼稚園に通うお子さんがおやつ時間にアレルギーのためほかの園児と同じおやつが食べられず、つらい思いをしていると聞いたときに、自分もお菓子の携わる者として、何か役に立てることはないか？と思った事からでした。

もともと和菓子には、卵・小麦・牛乳を使わない菓子が多くあるので、アレルギー対応の菓子は作りやすく感じております。

現在は、お客様と相談の上、特別注文として製造販売しています。当初はインターネット販売なども考えましたが十分な設備もないままに中途半端なことをしてご迷惑を掛けることがあってはいけないと思い、行っておりません。

アレルギーを持つお子さんがいるお母さん方のお話をお聞きすると、本当に心を込めた食事を提供しているのだなと感心します。

私自身、本当に美味しいお菓子は自分の大切に思う人のために心を込めて作るものだと感じているので、お母さんが作るアレルギー対応のお菓子はそのお子さんにとって一番美味しい物ではないかと思えます。

わたしは、ほんの少しでもそのお手伝いができるようにもっとアレルギーについて勉強していきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

菓子舗 巖邑堂
内田 弘守

◆-----◇
☆4. 賛助会員“株式会社ルバンシュ”からのお知らせ ★

◆-----◇

当社は、自然派化粧品を製造および販売しています。

化粧品は肌につけるものですが、体内に入る可能性も否定出来ないことから、肌に対しての優しさはもちろんのこと、万が一、口の中に入っても安全な化粧品作りを目指しています。

特に、日やけ止め製品には力を注いでおり、神戸大学・名誉教授の市橋正光先生を技術顧問として迎え、幼児期からの紫外線対策の重要性を提唱していきながら、子どもたちでも安心して使える日やけ止め製品を揃えております。

これから紫外線が強くなる時期を迎えます。

大量に紫外線を浴びることにより、免疫機能は低下し感染症にかかりやすくなりますので、外出の際には、日傘や帽子等とともに、日やけ止めクリームを上手に利用し、紫外線の害から肌や身体を守ってください。

商品URL <http://www.revanche.co.jp/full/14.html>

◆-----◇
☆5. 事務局の窓辺から ★

◆-----◇

段々と、花粉症も和らいできましたね。今年は暖冬のようにでしたが、4月からは

温暖の差のある日々が続いている気がします。そのせいか、町のあちこちで、咳こんでいる大人を見かける今日この頃です。風邪でしょうか？ヒノキでしょうか？

アレルギー支援ネットワーク事務局の伊藤です。今年度から小4になる息子ですが、食物アレルギーはありませんが、気管支が弱く風邪を引きやすい体質のようです。一年前からスイミングに通っていますが、秋口の体調を崩し気味の時期になると、塩素負けをするようです。普通の人にはプールから出ると、鼻水が止まらないようですが、うちの子は、気管支が弱いので、プールに入ると咳き込むようです。（そこまでしてスイミングを続ける??）息継ぎ無しで10m泳ぐテストの時は大変だったようですが、どうにか合格しました。

これから先は、どんな難問が待っているのでしょうか？どうにかなるかと思いつつも、これからはいろいろな事、頑張ろう！ 伊藤

◆-----◇

☆6. ホームページからのお知らせ★

◆-----◇

4月15日(日)12時18分ごろ、三重県中部を震源とする地震がおきました。同日「東海アレルギー連絡会」定例会があり、東海4県のアレルギーの会の代表者らが、名古屋に向かっている最中でした。

三重県各地からの報告です。

(鈴鹿より)

鈴鹿では1回目の揺れの直後から携帯メールで(自宅電話、携帯電話はさすがに通じませんでした)会員の安否確認をしましたが、特に大きな被災はなかったようでした。伊勢のアレルギー会の方からも連絡があり、大丈夫だったようです。鈴鹿での被害としては、一部の地域で赤水がでたようです。

(津より)

皆さんの被害の程度は「壁紙が破れた」「物が落ちた」「冷蔵庫が10センチ移動した」だったそうです。子どもの話によると、学校では窓ガラスが割れたりしていたそうです。

震源地の亀山の会員の方のところでは、揺れはひどかったそうですが、大きな被害はなかったようです。

今まで連絡は、すべてファックスか郵送でしていましたが、普段からメールでやりとりをする必要性を感じました。また、もっと大きな地震で、安否確認をする必要が生じた場合に、連絡がつかない人がいたときは、どうするか。会員同士が確実な連絡をするため、連絡網のグループ分けを細かくする必要性を感じました。

(四日市より)

四日市は全&半壊の家が何軒もありました。コンビナートで火災がなかったのが幸いです。市内のビデオ屋にいた人は、目の前で雨のようにビデオやDVDがバラバラと落ちて、なす術もなかったとのこと。また、食堂では皿がテーブルから落ちて食品が飛び散ったようです。アナフィラキシーショックを起こす子の場合、「危険だ」と思ったとのこと。会員が少ないのが幸いしてか、全員すぐ連絡もとれ、メールバックもあり、みんな無事でした。エレベーターの中にいた人が「超揺れた」と言っていました。県内ではエレベーター内にとじこめられた人もいます。

地震直後は、全く携帯電話は使い物になりませんでした。メールの活用をはじめ、171の活用も考えなければと思いました。地震直後でもコンビニの公衆電話は生きていました！テレカも捨てずに持っているものだと思います。でも、大地震のときは、テレカも使えないときがあるそうで、10円玉は持ち歩いていた方がいいようです。

鈴鹿川の堤防では、亀裂が 10 箇所以上見つかったということです。もう少し規模が大きな地震が起きて、川の堤防が決壊した場合でも、備蓄食品なども流されてしまわないように、高台に置くのがよいように思いました。

以上、それぞれの会の連絡網のあり方・連絡の方法について考えさせられる報告が多くありました。

◆-----◇
☆7. ニュース・エトセトラ ★
◆-----◇

1) 防災救済ネットワーク アレルギーっ子の防災・救援ネットワークの進捗状況

能登半島地震に続き、三重地震と油断のならない状況が続きますね。開発スタッフとしても間に合わせないといけない焦りと使い物にならないのであれば意味がないと思う慎重さが入り乱れてなんとも言い難い気持ちで作業を進めています。

近況としては、去る4月14日に理事の栗木さんと私(足代)でトヨタ財団の「地域社会プログラム」の助成金贈呈式に出席してきました。助成を受ける団体の中に「阪神大震災を記録しつづける会」と「中越大地震ネットワークおじや」もあり交流会でお話をお話と思いましたが、阪神の関係の方とはお話できましたが、中越の方は欠席と言う事でお会いする事ができませんでした。まだ能登半島地震が起きて日が浅く、中越からのボランティアもたくさんの方が現地に入っていると伺っていますので、たぶんそちらに係わっているのでしょうか、目的が半分となってしまいました。

助成金を頂いた事で、情報をやり取りする器械(独立サーバー用のパソコン)とシステム、いずれも一部ですが確保する事が出来ます。とてもありがたいことです。

でもインターネットや携帯電話などの器械や手段も大事ですが、それに係わって頂ける「人」のつながりがなければネットワークは機能しません。「支援を必要とする人」の私達のことだけでなく、「手を貸してくれる人」とも話し合わない情報が一方に偏ってしまいます。また医療関係者との話し合いなど課題山積ですが、日常の仕事の合間を縫って着実に前に進めています。これからは、支援ネットワークの総会でこれまでの報告を行い、この災害・救援ネットワークの中にどのような情報をまずはシステムに組み込むのか、どのようなメンバーで作業部会を作っていくのかという検討をすすめて、関係する皆さんと項目の整理を早急に始めたいと思います。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

アレルギーっ子の防災・救援ネットワーク開発スタッフ

◆-----◇
☆8. クリキ家づくり悪戦苦闘記2 ★
◆-----◇

家づくりをするのに最初に考えたのは信頼のおける建築施工者をどう探すかということでした。欠陥住宅問題や家づくりに関係するホームページを読みあさり、まず感じたの「住む人の意見に聞く耳をかたむける設計施工業者を選ぶ」ということでした。

私の職場で家を建てた後輩がいました。私の紹介ではないのですが。。私も全く知らない設計者ではありませんでした。自分たちの家族がこれから住もうという家に、彼は何度も足を運び、それこそ、事細かに施工業者に注文をつけたのです。これは、当たり前のことですが、当時その設計者はこの彼の行動を非難し、挙句のはてに、「お客になってもらわなければよかった」と。わが耳を疑いました。これまで、身近に見聞きした設計者の姿勢とは大きくかけ離れていたからです。欠陥住宅や家

づくりのホームページでもこれらが共通点だと感じられました。

何十年も住み続ける側が、施工の仕方に注文をつけるのは当たり前のことです。設計者が家づくりの基本は住まい手とよく話しをすることと言っているのと同じです。ところが、いざ施工の段階になると「迷惑」と感じるのは何故だろうか？という疑問が湧いてきました。

私がこれまで多くの建築家と出会いましたがほとんど「設計者」です。

当たり前のことですが、いくらよい図面をかいても、それを実現するのは施工業者です。木造づくりでは大工さんです。腕のよい大工さんがいなければ設計どおりにはなりません。

ここに「迷惑がる」最大の問題があったことに気づきました。「家づくりは匠の仕事」といわれる所以です。不幸にして若い彼はその腕のよい施工業者と組む設計者に恵まれなかったのです。最近、彼はこうこぼしていました。「施工業者が倒産したって聞いたよ。あとあと誰に頼めばよいの」有能な大工を育てる環境はどうなったのか危惧しないわけにはいきません。

「普通の人々が普通に働いて家がもてる」！？

どこかで聞いたようなセリフです。<以下続く>

◆-----◇
☆9. アレルギー支援ネットワーク一般会員募集します ★

◆-----◇
《アレルギー支援ネットワークでは、一般会員を募集しています》

詳しくは、<http://www.alle-net.com/>

「支援ネットについて」の「会員の特典・入会書」をお読みください。

【問い合わせ】NPO 法人アレルギー支援ネットワーク 事務局（担当：中西）

FAX : 0564-55-5702 e-mail : nakanishi@alle-net.com

◆-----◇
☆10. メールマガジン無料会員募集します ★

◆-----◇

メールマガジン無料会員とは・・・

メールアドレス（PC、携帯）を登録した方です。

メールマガジン無料会員に「アレルギー支援ネットワーク通信」（仮称）を毎月1回無料配信します。新鮮な情報を盛りだくさんお届けします。PCにも携帯（一部、表示できない機種があります）にも配信できます。

また、メールマガジンはその時々ニュースだけでなく、HPに掲載されない、読者の皆様だけへの特別割引などのご案内や、地震・水害などの被災時には、安否確認や支援などの媒体として利用をさせていただきます。

お友達やお知り合いの方にも、是非ご紹介ください。どなたでも無料会員になることができます。

PC、携帯のアドレスをお持ちでなくても、郵送でお届けすることができますので、事務局 TEL/FAX : 0564-55-5702 までお問い合わせください。

メールマガジン無料会員登録は HP（<http://www.alle-net.com/>）からどうぞ。『メールマガジン無料会員』をクリック → 『無料会員とは・・・』をお読みいただき、同意をされる場合は、『申し込み』をクリック → 事務局へのメールのフォーマットに記入・送信 → 登録完了

尚、配信停止もいつでもできます。

▲ 今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いて
アレルギー支援ネットワーク sonoki@alle-net.com（担当：園木）まで
メールをお送りください。

★メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。

★このメールアドレスは、メールマガジン専用ですので、各窓口の方にご連絡ください。

★会員のみなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇ 444-0802 愛知県岡崎市美合町三ノ久保 13-3, 103

▽TEL/FAX : 0564-55-5702

▽E-mail : info@alle-net.com

☆◆-----◇☆